

令和元年度 第1回行政評価委員会 議事録要旨

日 時	令和元年8月8日(木) 午前10時から午前11時30分まで	
場 所	市役所 本庁舎 災害対策本部室	
出席者	委 員	横山幸司委員長 齊藤由里恵副委員長 磯貝禎之委員、岩井洋二委員、篠田遼一委員、松岡万里子委員
	事務局	副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、 経営管理係長、経営管理係担当
次 第	1 市民憲章唱和 2 委員長あいさつ 3 副市長あいさつ 4 議題 (1) 令和元年度公開行政レビューについて (2) 令和元年度公開行政レビューの事業選定について 5 その他	

- 1 市民憲章唱和
- 2 委員長あいさつ
- 3 副市長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 令和元年度公開行政レビューについて
(事務局説明)

・委員長

特に大きな変更はなく、事業評価シートを活動指標と成果指標を加えて、より見やすくしたということが大きいと思います。基本的には例年のように、進めていくということでよろしく願いいたします。これまでの御説明で御質問等ございますでしょうか。進めていくうちにお気づきの点がありましたら教えていただきたいと思います。

- (2) 令和元年度公開行政レビューの事業選定について
(事務局説明)

・委員長

一つずつ皆さんと見ていきながら、最終的には多数決ということになるかもしれませんが、議論していく中で、選定事業にふさわしいかどうかを合議の上で、決めていきたいと思います。簡単に事務局から各事業について御説明をいただきましたので、選定するに当たってわからないことが委員の方からありましたらご質問いただいても結構です。ただその質問という意味は、ここで事業仕分け

のような審査していくという意味ではなく、選定をするのに教えてもらわないと選定できるかどうかわからないということで気になることなどがあつたら御質問をいただきたいと思います。この中から事業は3つ選びますが、少しこの内容のままではいけないということも申し上げることもあるかもしれませんが、個別に言おうと思います。他の委員の皆さんのお考えがあると思いますから、1つずつお聞きしていきたいと思います。

1 図書館 ICT 活用事業（電子図書館）【アンフォーレ課】について

・委員長

電子書籍を拡大していきたいが、どうかという議題です。これをまず選定対象にすべきかどうか。あるいはそれに対して何か質問がございましたらと思いますが、いいことですので、安城市として予算が都合つく限りはやられたらいいんじゃないですか、ただ予算に関しては我々では何とも言えないところで、正直答えが見えてますよね。委員の皆さんはいかがでしょうか。

・委員

電子書籍のアピールという点では、この5つの事業の中で言えば選定事業3つのうちの1つかなという感じがしました。議論という意味では、何を議論するのかなというのがありますが。

・委員

確認ですが、この案件は今まで費やしている予算に対して、電子書籍を増やすという予算が純増になるという話なのか、それとも図書館全体に係る費用の中で電子書籍を増やすという予算配分が変わるという話なのかでも違うのかなと思いますので、確認させてください。

・事務局

基本的には増えるということで、御理解いただければと思います。

・委員長

その他、委員の皆さんの御質問等はどうでしょうか。では、一通り事業を見ておきます。まず採択かどうか判断できませんよね。

2 防災ラジオ普及事業【危機管理課】について

・委員長

これはまだちょっと議論できるかなとは思いますがね。防災ラジオは、市として何%の市民や世帯が、どのぐらいになったらいいのかと設定されているのかが気になりますね。買い替えに対する補助ということが議論になっていますが、そも

そもこの防災ラジオを全世帯に普及するというのが市として目標であるならば、まだまだですし、そこまではないですよというのであれば、適度に進めればよいということになりますから。数値目標はありますか。

- ・事務局

成果指標のところには世帯普及率が出ており、20%を目標にしております。その根拠につきましては、災害情報につきましては、多くの方がスマホを持ってみえますのでスマホからいろんな情報をとることができるのですが、お持ちでない方もみえるので、その方たちをターゲットにすると、概ね安城市内世帯の20%ということを目安に置いています。その方たちにどういった形で災害情報を発信していくのか。スマホ以外の手段、テレビとかもあります。災害時にスマホ以外の手段で伝えるものとして、市としては防災ラジオということを考えております。その中で、普及率2割を目標にするということで引き続き、ラジオの販売は現状どおり続けていきます。この普及率はH30年度15.3%ですが、これは販売した数で単純に出しています。例えば、この所有のラジオが壊れてしまった場合は、後追い調査をしていないので、恐らく実質的にはこの数字よりは下がっていることになるかと思えます。壊れた方が全てラジオを直していれば、この数字になるのですけれども、そこまでの想定ではありませんので、この数字より低くなってしまうということがあります。この2台目のラジオを売るという観点は今推移している普及率に実質的な数字も近づけていくことが目的としてあります。全体の普及率を延ばすということは、従来行っているラジオ販売は継続して続けていくということです。

- ・委員長

その20%という数字は本当に適切な数字であるのかというようなことを含めてこれは議論してもいいかなと思います。

3 敬老祝品の贈呈（敬老事業）【高齢福祉課】について

- ・委員長

これは前回、模擬レビューでやりましたね。その時は祝金だったのですが、祝金や祝品がどうのというよりも、敬老事業そのものについてどうかという議論を、その時そうしたような気がするのですが、確か、各町内会でやられており、それに対する負担感の声もあるんですよね。そういうこと全体を見直していくことが必要であって、祝品をやめるかどうかというようなことは、あまり公開行政レビューで取り上げるような話ではないなと私は思いますが、どうでしょうか。

- ・委員

町内会といたしましても敬老会を個別にやっております。町内会ごとにいろいろな敬老会をやっておられると思うんです。市から町内会に入ってる人も入っていない人も含めて、たくさんの祝品が来るわけですけれども、マンションに入居されて町内会に入っていない方が非常にたくさんいますので、マンションに入るのは大変でして、なかなか中に入れたい。そんなようなことで本当にこれは必要か？という気はしております。敬老祝品が本人たちの本当にお祝いになっているのかどうかというのがちょっと疑問なんです。最近、羊羹と梅干とお茶のセットがくるわけなんですけれども、これをやめたら、市としてどんな高齢者に対するお祝いの仕方があるのかなど。わざわざ敬老の日があって国が祝い、市が祝い、町内会が祝うという体制の中で、これやめてしまったら、市の方には何か、お祝いをする事ができるのか。というようなことがございます。市の方からは、町内会で事業をやってくださいよということで1人につき900円の予算をいただいていますから、それも使い、町内会で敬老会をやっておるわけですけれども、これをやめてしまうと、市民には市が敬老事業について何をやっているのかというのが見えなくなるかもしれません。委員長は全体の見直しのお話をなさいましたが、私は、これをやめるかどうかというのも大きな問題だと思っていますので、これを取り上げていただいてもいいと思いますけれども、各町内会の実態とかそういうのは調査した上で、これが出てきたかどうかというところを知りたいと思っています。

・委員長

そういう議論の余地があるのであれば、私もいいと思います。あと委員が言われるように、これをやめることにより他の財源に充てるというだけけれども、何をどういうふうにするのか、どんな施策を考えているのかというようなことまで議論になると思いますけど。

4 大気汚染測定事業 【環境都市推進課】について

・委員長

県もあるし、市として独自に測定する必要はないのではということで、議論は明確だと思いますし、事業仕分けにおいては重要な視点ですね。そもそも市がやる必要があるのか、国や県がやればいいのかというのは、大きな柱ですから、そういう意味では該当してくると思います。現在機器が故障してしまっているんですか。

・事務局

測定自体はしております。集計機能について故障しておりますが、基準内外で

あるとかそういった測定については問題なく行っております。

・委員長

これは市独自で、国、県の情報にないところの情報を得る何かメリットがあるんですか。

・事務局

この測定結果は常時市民向けに発信しているということもないようですし、県等に報告して、県が状況に応じて、広く知らしめるという形をとっておるそうですから、観測値を速やかに何らかの形で住民の方に市として公表することはないというふうに聞いております。

・委員長

市で測定することで県の情報よりも細分化された情報がとれるということもないんですね。

・事務局

ないですね。

・委員長

では、やめていいのではないかという結論ですね。委員の皆さんご質問ありますか。よろしいでしょうか。次にまいります。

5 田んぼダム事業 【土木課】について

・委員長

これも私はどうぞやってくださいと思います。雨水対策というのは他にもいろいろあると思いますが、そういう全体の中で、田んぼダム事業をさらに増やしていく必要があるんだとか、そういうことにしていかないと議論が矮小化してしまい、やるかやらないかというそれは増やした方がいいという答えしか出てこないです。何かもう少し議論ができるようにしてほしいなと思いますが、いかがでしょうか。私自身はこの田んぼダムというのはあまり知らなかったんですけど、これは安城では、一般的なものですか。

・委員

現実には、田んぼダムと言ってますけれども、田んぼに水を溜めることができるというだけでございますので、調整マス、いわゆる下の方のマスに蓋をすれば、田んぼに水が溜まるということだけでございます。堀内川流域や鹿乗川流域等の洪水の恐れのあるところでは、それが非常に有効なダムの機能を果たすと思いますけれども、全面的に行うということではありませんし、それがあつたために洪水が一切なくなるということもございませんので、私は、これについてわざわざ

取り上げる必要はないのではないかと、特定の地域だけしか該当しませんので、そういうことを市民全体の御意見を聴くというようなことではなかろうかと思っておりますけれども、他に御意見があるかもしれませんので。

・委員

雨水事業だと例えば下水道との関係性はどうなっているのでしょうか。例えば雨水対策だと下水道というのは雨水処理の一つで、安城市の整備状況がどこまでかわからないですけど、ここら辺まで整備されていないために、これが重要なのかどうか。

・事務局

確かなことは言えませんが、安城市では雨水を汚水マスで受けてないと思います。今回のこの田んぼダム事業ですが、委員がおっしゃったように、田んぼダムだけで全ての雨水を受けられるわけではありません。内水対策ということで水を受けようと思えば、ため池のようなもので水を受けて、そこから川の容量に応じて少しずつ流していくということで、洪水を防ぐというのが基本的な考え方になります。構造物を造るということになりますとやはり非常にお金がかかります。その点、田んぼダムは1枚の田んぼでは貯水量も低いですが、面的にとれるところですか、あと営農さんへの理解が得られれば、構造物をつくるよりは比較的容易に水を溜めることができるようになりますので、現在の調整池に任せている一部の機能をより安価で機敏性のある田んぼダムの方に比重を少し変えていけないのかというのが趣旨になります。ただ、説明中にもありましたが、調整池をつくれれば確実に水は溜めることができますけれども、田んぼダムの場合だと、農家さんの理解が得られるかどうかといった側面もあり、若干その不確定要素もあるので、御議論いただければと考え、今回対象とさせていただきました。

・委員長

あまり我々では議論できる事柄ではないように思いますが。質問は以上でよろしいでしょうか。

6 生活困窮者自立支援事業（サタデースクール）【社会福祉課】について

・委員長

もう一つ模擬レビューのみの対象事業候補ということで、質問だけ確認していきたいと思います。これも是非やってほしいと思います。私の知る限りで申し上げますと、同じような事業に、文部科学省の地域未来塾というものがあります。こちらは福祉のサイドからやっておられるんですけどね。だから議論するとしたら、市としては厚生労働省と文部科学省とか言わずに、合わせて、市の施策として、効率的

に効果的にやってほしいということが言えるかなと思います。委員の皆さん、ご質問とかありますか。特によろしいでしょうか。

- ・委員長

ということで、全部で6つの事業について見てきました。まず、5つの事業のうち3つは選ばないといけないということで、先ほど私が申し上げ、委員の皆様からも御指摘があったように、今後、事業評価シートの書き方や論点等につきましては、多少加筆、変更してもらおうということは必要かなということも思いますけども、この事業を今回議論対象としていいかどうかということを決していきたいと思います。模擬は後から選びますので、最初の本番事業を3つ決めてください。

電子図書館の事業、いかがでしょうか。今回選定対象として、やりますか？（賛成4）決定というよりまず、3つ手を挙げましょう。

防災ラジオ、これを選定するかどうか。（賛成4）

敬老祝品の贈呈。満場一致ですね。

大気汚染測定事業（賛成2）、田んぼダム事業（賛成なし）

票が多かったのは、電子図書館と防災ラジオと敬老祝品ということですが、多数決で決するならば、この3つということになりますけれども、それでよろしいですか。

まず図書館事業ですが、結構皆さん手を挙げられましたが、理由は何ですか？

- ・委員

拡大か廃止というのが明確なものばかりなので、純粹に事業規模が大きい順に3つ挙げました。判断基準はそこのみです。

- ・委員長

委員の皆様で他にこれはどういうところを議論したいなというのはありますか。

- ・委員

説明内容を聞いた上で、どうかという議論になると思います。そうなれば、皆さんによく電子図書館事業が広がっていくと思いますので、公開の意味があると思います。

- ・委員長

中身について議論するということですね。他の委員はどうですか。挙げなかった理由は何かありますか。

- ・委員

やればよいということについて何を議論するのかなと思っています。安城市も

この参考比較でいうと蔵書数が大府市と同じくらいですが、貸出数が伸びていないですね。大府市の方が蔵書が少なく貸出数が増えていて、あと一宮市が蔵書数に対して貸出数が3倍ぐらいとすごく伸びていて、論点として伸ばしたいという電子書籍をぜひ利用してほしいという、むしろそちらの取組をどういうふうに広げていこうとか、学生の皆さんとか電子書籍が活用できる世代に対してアピールしていくという方法についてもう少し議論するとか、電子書籍の活用に至っていない皆さんに活用の機会を、例えばこんなに便利だというのを取り上げたり、環境のない中で使えといっても無理なので、高齢の皆さんにタブレットを配ってというような、そういうのも含めて伸ばしたい、アンフォーレだけで図書事業をしているんじゃないということをアピールするものとして、これを取り上げるのであればいいと思いますが、中身をどうするのかなというのは思っておりました。

- ・委員長

そういう意味で、皆さんがやることはいいんだけど、方法とかをこの場を借りて議論できるんじゃないかというのでこれを採択するというのであれば、いいかなと思いますね。これは一つ決定ということで、1番にしたいと思います。

次に、多かった防災ラジオですけれども、これは、私は先ほど意見を述べましたので、取り上げるべきだと言ってくださった皆さん何か御意見ありますでしょうか。

- ・委員

そもそも防災無線とかを選択する地域がある中で、安城市が防災ラジオを普及していくというところの意義だとか、公開行政レビューで取り上げることで、こういうものを流してますとか、特にこれからの時期、災害等が多く起こる時期に、意識喚起や啓発の意味も含めて議論することは一つ重要だということと、あとはどういうふうに広めるためのアイデアがあるかという担当課の思い等も一緒に議論をしていきたいなと思いました。

- ・委員長

これも方法論とか全体的なことも加味していただいた上で議論するというのであれば意味があると思います。皆さんよろしいでしょうか。これも採択ということでお願いしたいと思います。

次に多かったのは敬老祝品ですけども、これは全員取り上げるべきだということで、挙がっています。これについて私は議論の論点を先ほど少し申し上げたのですが、他の委員は、議論の論点としてはどんなことが考えられますでしょうか。

- ・委員

寝たきりであったり施設を利用している人たちや町内会に入っていない人たちに対して市が敬老という思いをどう伝えるのかというのは、すごく難しいと思います。町内会に非加入の方に対しても町内会に負担をかけて配ってもらっている、例えば、町内会に入っているから、祝品を持って民生委員さんが「最近どうですか」と言いながら回ってこられると、「ああ見捨てられてないんだ」という感覚を持っております。気に留めてもらってるという感じがある。ただその町内会に入っていない皆さんに対して市がどのように敬意を表するかという部分が果たしてこれでいいのかなというのは思います。

・委員

市から来るのは町内会に入っていない人の分もあり、配っています。私が直接行って「おめでとうございます」と言って渡してるわけです。でもマンションに入るのが大変だというだけの話ですので、安城市の祝品はちゃんと届いているわけです。ただ祝品をやめてしまうと、本当に安城市が皆さんの敬老の念を伝える方法があるのかということですね。それがちょっと問題だということで、それから、町内会で敬老会をやるときには、町内会に入っていない人も含めて、対象者分の1人900円という予算もくださるんです。それで敬老会をやりなさいということで敬老会をやらせていただいておりますけれども、町内会に入っていない方にお知らせがうまくできないわけですね。それも少し問題だなと思っておりますけれども、市が高齢者に対して一生懸命長らく安城市にお住みいただいてありがとうございます、高齢になられておめでとうございますという、何か姿勢が見えるものがやっぱり要るのではないかと考えておりますので、御議論いただけたらというふうに思ってます。

・委員長

完全にやめるということでだけでなく、物を替えるとかも含めて議論の余地があるということで、これも採択ということで、では上記3つということにさせていただきますと思います。よろしいでしょうか。

では残りました4（大気汚染測定事業）、5（田んぼダム事業）と（2）の1（生活困窮者支援事業 サタデースクール）を合わせて、この3つの中から、模擬レビュー用に1つ選びたいと思います。練習用ですから、市民評価員も含めたときのわかりやすい事業がいいと思います。では順番に聞いていきます。

4番の大気汚染測定事業がいいと思われる方、挙手をお願いします。いらっしゃらないですね。

田んぼダム事業がいいという方いらっしゃいますか。では、残るはみんなこれですね。生活困窮者自立支援事業がいいという方。

迷っていらっしやいます委員は、何と迷われましたか。

・委員

大気汚染測定事業に関しては、市がやることの効果というところを出してもらわないとやるべきかどうか判断がつかないというところで、今お聞きした限りでは、特に市で単独測定する必要はないのではないかという意見だったと思います。田んぼダム事業に関しては、すごく大き過ぎる内容でこの時間の中で話ができないのではないかと思いましたが、あと農家さんの御協力という話が出ましたが、例えば災害で被害を被った時、水を貯めると、お米がとれない可能性があるわけですが、そういうときの補償を市でするのか等いろいろ複雑に法律的な問題が関わってくると、この中だけでは、良い悪いの判断ができないのではないかと思います。あとは技術的なことでこれが必要なのか、今後の災害がどういうふうになっていくのか、技術的なことや法律的なことなど結構網羅しないと判断しにくい内容だと思いましたが、迷いましたがどれになっても大丈夫です。

・委員長

ということでございましてありがとうございます。では、票が多かったということで生活困窮者支援事業（サタデースクール）を模擬レビューの対象にさせていただきます。以上、私どもの結果としては以上になりました。

（議題終了）

5 その他